

沖縄発祥の「平和の武」空手を世界へ!!



10月25日は「空手の日」

「平和の武」空手

沖縄を発祥の地とする空手は、厳しい鍛錬を通して身体を鍛え、心を磨き礼節を重んじる「平和の武」として今日まで受け継がれ、現在では、世界中に1億3千万人もの空手愛好家がいるといわれています。昨年8月には第2回沖縄空手少年少女世界大会が開催され、国内外から1,438人の参加があり、大会を大いに盛り上げ、沖縄空手の魅力を国内外へ発信することができました。

空手が世界中の人々を魅了する理由は、「空手に先手なし」「人に打たれず、人を打たず、全て事なきを基とするなり」などの沖縄空手の先人達の言葉に表されるように、平和を希求し礼節を重んじる精神性や先人により創造され、育まれ、受け継がれてきた「型」にあるといわれています。己を鍛え、技を磨き、心を養つ。沖縄空手の原点がそこにあります。

「空手の日」について

空手は初め、「テイ」と呼ばれていました。唐手(トウテイ・カラテ)や「空手(カラテ)」と呼ばれるようになり、1936年10月25日に

開かれた「空手座談会」にて、「空手」という表記の統一について話し合いが行われました。この日を特別な日と位置づけ、2005年に沖縄県議会において、沖縄伝統の空手が今後ますます発展し、世界の平和と人々の幸福に貢献することに願いを込めて、「10月25日」を「空手の日」とすることが決議されました。

「戦後80周年」「空手の日」制定20周年

今年、「戦後80周年」「空手の日」制定20周年を迎えます。さまざまな歴史の荒波を乗り越え、伝統文化を受け継いできた先人達に思いを馳せるとともに、更なる伝統文化発信のため記念イベントを開催します。

10月25日の「空手の日」当日は、「戦後80周年」を祈念し、糸満市摩文仁の平和祈念公園内にある平和の丘にて、県指定無形文化財保持者らによる「奉納演武」を実施します。また、10月26日には那覇市の国際通りにて、空手の日を記念して約2,000人の空手家が流会派の垣根を越えて一堂に集う、「記念演武祭」を盛大に実施し、沖縄空手の魅力と平和を愛する沖縄の「チムグル」を世界の人々に届けます。

「空手の日」制定20周年記念フェスティバル

10月26日に「空手の日」制定20周年記念フェスティバルを県民広場(県庁前)で実施します。空手演武をはじめ瓦割り体験や、「琉空太郎」との記念撮影、スタンプラリー等を実施予定ですので、ぜひお越しください!



空手の日
ホームページ



平成31年「空手の日」記念演武祭



令和6年「空手の日」記念演武祭



令和6年「空手の日」奉納演武

問い合わせ

空手振興課 電話：098-866-2232